

NAKA

公益社団法人 名古屋中法人会・広報誌 [なか]

2015

秋

VOL.159



2015年 秋号 目次

DIARY.....	1
第4回通常総会・表彰式.....	2
総会記念講演会.....	6
歴史経済作家 渋井 真帆氏	
第35回青年部会通常総会.....	10
第32回女性部会通常総会	
平成27年度経営研究会総会.....	11
理事会	
会員増強運動のお知らせ	
署長インタビュー.....	12
名古屋中税務署長 辰巳 安治氏	
お時間拝借.....	16
有限会社 川村屋 代表取締役 戸松 慎吉氏・戸松 滋夫氏	
ものづくり名古屋の伝統 職人の技.....	20
木桶の栗田 栗田 茂徳氏	
健やかサークル.....	24
気軽にチャレンジ ヨガ	
季節の和菓子の魅力.....	25
川村屋	
ものづくり愛知の至宝.....	25
松坂屋コレクション⑤ 段模様 腰明振袖	
シリーズ・こだわり見学記.....	28
私たちの街のオーケストラ「名フィル」	
シリーズ・この人.....	30
名フィル次期音楽監督 小泉 和裕氏	
景気討論会.....	34
《社長のやる気サポート》	
マイナンバー制度.....	36
税制改正の実務ポイント.....	40
やさしい法人税セミナー.....	42
第16回パソコンセミナー.....	44
雇用トラブル対策セミナー.....	45
中日新聞社・愛知県警察視察研修会.....	46
《社会貢献事業》	
栄ミナミ音楽祭'15 パートナースライブ in つたも.....	48
NAKAビアフェス.....	49
広小路夏まつり・なごや昇龍みこし	
《会員サロン》	
住吉の語り部になりたいー⑦.....	50
料亭つたも 主人 深田 正雄氏	
ポーランドという謎ー③	
会友 藤間工業(株)代表取締役会長 藤間 敏雄氏.....	52
行事メモ.....	56



表紙の人
名古屋フィルハーモニー交響楽団
次期音楽監督 小泉 和裕氏

oct. — 10 —

8 木～9 金

第32回・法人会全国大会徳島大会
徳島県総合文化センター 14:00

9 金

名城支部視察研修会～秋の高山祭り～
錦三支部視察研修会～秋の高山祭り～
御園支部視察研修会～久能山東照宮～

10 土～11 日

大須支部事業～大道町人祭り～協賛参加
体育の日 特別イベント

12 月

第7回・「名古屋二コニコランド2015」
スポーツの秋～コロもカラダも元気な名古屋～
久屋広場・光の広場 10:00

13 火

広報委員会・局長取材挨拶
名古屋国税局局長室 10:00

名古屋中税務連絡協議会

広報誌「税務なか123号」区割り作業
名古屋中税務署会議室 13:30

14 水

平和支部視察研修会～豊川稲荷・ラグー
ナテンボス～青年部会・第5回正副会長会議
事務局会議室 18:30

15 木

「初心者のための源泉所得税研修会」
中区役所ホール 13:30

16 金

女性部会・秋の教養講座 10:30
「陽輝荘南園・聴松閣の見学と散策」

17 土～18 日

第61回・なごや祭り

20 火

調査部所管法人税務研修会
講師：名古屋国税局調査部 部長 水野 進一氏
演題「税務を取り巻く環境変化と税務行政」
研修会調査部 審理課長 沼田 美之氏
テーマ「申告書の自主点検に関する
確認書の活用について」

名古屋中税務署法人課税第一部門

統括国税調査官 広 勝巳氏
テーマ「誤りやすい源泉所得税」

中日パレス 14:30

21 水

青年部会創立三十五周年＆経営研究会
創立三十周年記念式典『原点回帰・魅力ある青年部会』
～経営研究会と考えるこれからの中法人会～

名古屋クレストンホテル 18:00

財務省・国税庁

平成27年度「納税表彰式」

東京都港区三田共用会議所10:30

26 月

栄東支部視察研修会

～金沢21世紀美術館とひがし茶屋街の散策～
第11回・広報委員会

事務局会議室 10:30

28 水

青年部会・第5回役員会

名古屋クレストンホテル 18:30

29 木

名古屋国税局～法人会との意見交換会～
名古屋中税務署 15:30名古屋国税局 平成27年度「納税表彰式」
KKRホテル名古屋 10:30

nov. — 11 —

2 月

広報委員会取材「豊川稲荷」 13:30

3 火

文化の日

4 水

第8回・総務委員会

事務局会議室 10:30

6 金

広報委員会取材「局長インタビュー」

名古屋国税局長 藤田 博一氏

名古屋国税局 13:30

7 土

「暮らしの中の税金展2015」

若宮広場 11:00～15:00

8 日

錦三丁目支部・第5回社会貢献事業
《プラネタリウム＆名古屋市科学館に
児童を招待》

11 水

名古屋中税務署 平成27年度「納税表彰式」
KKR名古屋 10:30マイナンバー制度対策セミナー
第一部「マイナンバー制度の経営・実
務対応」講師：特定社会保険労務士 安中 繁さん
第二部「マイナンバー制度導入による
個人情報漏洩リスク」講師：AIU損害保険㈱ 中部地域事業本部
法人会統括推進部長 鈴木 融氏

昭和ビル9Fホール 14:30

《マイナンバー制度～法人番号通知書発送》
女性部会「署長講演会」

12 木

講師：名古屋中税務署長 辰巳 安治氏
演題「ある税務署長の日～木曜編～」

ホテルオークラレストラン 11:00

女性部会・第5回理事会

ホテルオークラレストラン 13:30

14 土

第18回・《中法人会TAX杯ミニサッカー
大会》

愛知県体育館メインアリーナ 9:30

19 木～20 金

第29回全国青年の集い茨城大会

茨城県民文化センター 14:00

23 月

勤労感謝の日

24 火

女連協・創立三十周年記念式典

記念講演「私の料理人生」

講師：料理人 坂井 宏行氏

名古屋東急ホテル 14:00

26 木

青年部会・第6回正副会長会議

事務局会議室 18:30

組織委員会

「会員増強運動進捗状況検討会」

昭和ビル9Fホール 10:30

27 金

決算期別研修会（10～12月期）

昭和ビル9Fホール13:30

大須支部視察研修会～近江路を訪ねて～
彦根城・長浜の散策

名古屋中税務署

28 土

栄西支部視察研修会
～スズキ歴史館・可睡斎の見学と参拝～

dec. — 12 —

1 火

愛知県法人会運営委員会

ホテルキャッスルプラザ 14:00

2 水

経営研究会・第4回幹事会

囲み屋 18:30

3 木

新栄支部事業

第8回・社会貢献事業

文化公演会「芸どころ名古屋 大須芸芸
場復活」

女流講師：古池 麟林さん

落 語 家：雷門 獅龍氏

日本の芸人：柳家 三亀司氏

中日パレス 18:00

青年部会・第6回役員会

名古屋クレストンホテル 18:30

8 火

県連・税制講演会

講師：名古屋市長 河村 たかし氏

演題：「減税か・増税か」

ウインクあいち5F小ホール 14:30

22 火

冬至

23 水

天皇誕生日

2016

jan. — 1 —

5 火

第9回・総務委員会

芳蘭亭 16:00

7 木

新年税務署長挨拶

名古屋中税務署会議室 13:30

14 木

女性部会・第6回理事会

事務局会議室 10:30

18 月

名古屋中税務連絡協議会
広報誌「税務なか123号」区割り作業

名古屋中税務署会議室 13:30

19 火

県連・第6回理事会、賀詞交歓会

名古屋東急ホテル 16:00

27 水

県連・専務理事会議

大同生命ビル会議室 14:00

28 木

新春賀詞交歓会

講師：(株)コメ兵 石原 司郎氏

中日パレス 18:00

feb. — 2 —

4 木

栄西支部企業見学会

～ミュージカルの見どころと観劇～

劇団・四季

9 火

市内9法人会合同講演会

日本特殊陶業文化会館 13:30

10 水

県連・事業委員会

大同生命ビル会議室 12:00

第12回・広報委員会

事務局会議室 10:30

11 木

建国記念日

12 金

決算期別研修会（1.2月期）

昭和ビル9Fホール

県連・事業委員会

大同生命ビル会議室 12:00

16 火

県連・厚生委員会

大同生命ビル会議室 12:00

17 水

第33回 調査部所管法人会員経営者講演会

講師：名古屋国税局長 藤田 賢一氏

ウエスティンナゴヤキャッスル 13:30

23 火

青年部会・第7回正副会長会議

事務局会議室 18:30

経営研究会・正副代表幹事予定者会議

場所未定 18:30

全法連・総務委員会

全法連会館 14:00

第8回・常任理事会

昭和ビル9F会議室 15:00

24 水

県連・税制委員会

大同生命ビル会議室 12:00

25 木

県連・組織委員会

大同生命ビル会議室 12:00

29 月

県連・総務委員会

大同生命ビル会議室 12:00

mar. — 3 —

1 火

県連・広報委員会

大同生命ビル会議室 12:00

2 水

青年部会・第7回役員会

名古屋クレストンホテル 18:30

3 木

第8回・厚生委員会

事務局会議室 10:30

8 火

第70回・東海法連愛知大会

法人会運営研究発表会

ウエスティンナゴヤキャッスル 14:30

9 水

専務理事会議

大同生命ビル2F 14:00

10 木

女性部会・第7回理事会

事務局会議室 10:30

第9回理事会

昭和ビル9Fホール 13:30



決意 オピニオンリーダーの法人会

岡谷篤一会長はあいさつの中で、「今朝の新聞によれば東海地方の6割の企業はベアを引き上げ『我が国ダントツの地域』と明るいニュースも取り上げ、世界経済が順調に推移し、日本の経済も政府の経済対策と円安により回復基調に向かっています。

全国の法人会は新会員の加入率の減少という傾向にあり、名古屋中法人会も例外ではなく、乗り越えなければならない課題となっています。

当会は平成26年度の重点的な活動方針として、『会員一人一社の新規会員の確保と、本部・支部役員と協力保険会社などの関係機関との連携』を掲げ

て全力で努力して参りましたが、加入率は32.3%と減少に歯止めをかけることができませんでした。

厳しい現状の中、さらなる魅力ある法人会活動を推進し、地道な会員増強に努めてまいります。会員の皆様のご支援ご協力を賜ることを心より願っています。

公益社団法人としての使命を達成するため、『納税意識の高揚、地域企業の健全な発展、社会への貢献、変化する経済状況に即応する税制の提言』など、全国の法人会のオピニオンリーダーとして活動をして参ります」と決意を述べた。





会長あいさつ 岡谷 篤一氏



開会の言葉 荒川 慎太郎氏



閉会の言葉 大河内 健二氏



祝辞 名古屋中税務署長 伊藤 時光氏



議案説明 清水 正彌氏



監査報告 奥村 和俊氏



総会司会 服部 浩明氏

マスコミが注目した確定申告啓発活動

この日開催した理事会では、平成27年度・28年度の29名の本部役員名簿案を決議したが、閉会後の会場に新聞社の取材陣が訪れていた。

この取材は、名古屋中法入会が1月31日から3月16日の期間、名古屋市営地下鉄の国際センター・栄・市役所・上前津・鶴舞・伏見の各駅において、確定申告啓発ポスターを掲示して、市民の納税意識の高揚を図った事業について行われた。岡谷篤一会長は、こうした事業活動の紹介と同時に、当会が主催する愛知県体育館のミニサッカー大会・市民の健康増進を図る久屋大通公園のニコニコランドなど、当会独自の事業に触れ、税務当局の支援とマスコミへのPRに努めていた。

総会後の記念講演会は一般の参加者を交えて、歴史経済作家の渋井真帆氏による『尾張藩主徳川宗春のどえりゃあ派手な経済運営 ～吉宗の中央改革と宗春の地域活性化～』と題して講演が行われた。

情報交換会



開会あいさつ 武藤 俊明氏
司会 加藤 あつこさん (左上)
祝辞・乾杯の発声
名古屋中税務署副署長
牧野内 さつき氏 (左下)



情報交換会の渋井 真帆氏

平成26年度

会長表彰

第4回通常総会において、当法人会の運営・活動に貢献のあった皆様へ、岡谷篤一会長より感謝状及び表彰状が贈呈された。

加入勧奨功労者感謝状（個人）



代表
中村 美鈴さん

支部・部会活動功労者感謝状



代表
前田 利信氏

	法 人 名	受賞者名
加入 勧奨 功労	(株)保険相談センター	村 上 実
	(株)セブングロース	中 條 貴 久
	大同生命保険(株)名古屋支社	長谷川麻衣子
	大同生命保険(株)名古屋支社	中 村 美 鈴
		(以上4名)

(敬称略・順不同)

	法 人 名	受賞者名
支部活動	(株)保険相談センター	村 上 実
	(株)都都商事	三 治 和 代
	(有)メイブン	佐々辺 明郎
	(株)アイミック	加 藤 育 美
	(株)クルーズコーポレーション	前 田 利 信
		(以上5名)
女性部会	(株)喜多八	舟 橋 幸 江
	(株)播磨屋井上	井 上 久 子
	(株)安忠	安 藤 啓 子
		(以上3名)



署長表彰

名古屋中税務署の伊藤時光署長より、ITC申告普及に向けた広報活動が顕著であるとして岡谷篤一会長が感謝状を受賞した。

署長感謝状贈呈
伊藤 時光氏

e-Tax申告普及活動感謝状



役員功労者感謝状



代表
森川 成行氏

事業協力法人感謝状



代表
葉山 信雄氏

(敬称略・順不同)

法人名	受賞者名
日東物産(株)	飯田 洋 吾
(資)森川メッキ	森 川 成 行
日新乳業(株)	落 合 恵 潮
(資)小山商会	小 山 泰 良
大森工業(株)	松 山 八 郎

(敬称略・順不同)

支部	法人名
名城 (3社)	(有)愛互通信 (株)ダリヤ (株)カーク
錦三 (6社)	(株)石原ビルディング (株)廣潤社 相互ビルディング(株) 名古屋ビジネスサービス(株) 平野興産(株) ミヤキ(株)
御園 (3社)	愛銀コンピュータサービス(株) (株)フクモト (株)伊東管財
栄西 (2社)	岡谷サービス(株) (株)メディアロード

支部	法人名
新栄 (2社)	T&T都市開発(有) エヌシーオートメーション(株)
老松 (4社)	北嶋工業(株) 東海廣告(株) フルエン(株) (株)平和ゴム商会
大須 (1社)	愛知文紙事務器卸協
橘 (3社)	(有)木村メンテナンス (株)名港 名港木材(株)
平和 (2社)	(株)愛知コンサルタント 大有建設(株)
正木 (1社)	(株)高木製作所
松原 (1社)	(株)六浦本店

愛知県法人会連合会感謝状・表彰状



功労者感謝状
飯田 洋吾氏



副賞



本物の甲冑は重かった！

私は西洋史・日本史が好きで小学校3年のとき、本気で織田信長に恋をして、それから30年余り、運よく2013年に『ザ・ロスチャイルド』で城山三郎経済大賞をいただき小説家としてデビューいたしました。

先月私は「静岡まつり～駿府大御所徳川家康公時代絵巻～」で徳川秀忠に扮し武者行列に参加しました。武将として武者行列に参加した女性は私が初めてで、賛否両論あったようですが、アベノミクスの女性活躍推進で決まったようです。本物の甲冑は重く20キロありました。昔の人はこんな重い甲冑を着てよく戦争したなと思います。

尾張藩主であります宗春公ですが、宗春公の正式な肖像画は残っていません。幕府より蟄居謹慎の処分を受けたために記録などは一切処分されてしまったからです。べっ甲製の唐人傘を被り、白牛のような漆黒の馬に騎乗し長いキセルをくゆらせ町を練り歩いたようです。

名古屋市栄にある「ポスト宗春」は、牛の角が生えている金色の郵便ポストの上に宗春公が乗っていて、きちんと時代考証されて素敵です。この金ピカのポストは、どえりゃあ派手ですね。名古屋は結婚式が派手で有名ですが、一方質素倹約のケチぶりも全国で知られています。なぜこれが両立するのか。そして、中央に逆らうわけではないけれど我が道を行く独立独歩の精神の人が多いです。これらの名古屋の特徴のカギを握っているのが宗春公です。

尾張藩主 徳川宗春のどえりゃあ派手な経済運営

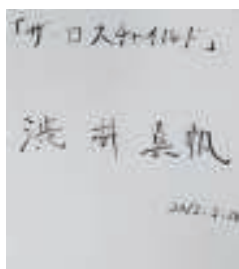
吉宗の中央改革と宗春の地域活性化

講師／歴史・経済小説作家

渋井 真帆さん



著書『ザ・ロスチャイルド』



渋井真帆さん色紙

第4回通常総会

記念講演



日時／平成27年5月26日(火)

16時～17時30分

会場／名古屋東急ホテル3F

ヴェルサイユの間

「百姓もゴマも絞れば絞るほど油が出てくる」

宗春公は、元禄9年（1696）尾張三代藩主・綱誠の二十男として生まれます。本来なら部屋住みの身ですが、兄弟を差し置いて享保元年（1716）徳川吉宗の推薦で従五位下主計頭を叙任されます。そして享保14年（1729）陸奥梁川3万石を拝領し大名になります。ラッキーです。享保15年（1730）35歳のときに吉宗の強力な意向があって尾張第七代藩主になります。以降、独自の藩政改革に邁進しましたが、元文3年（1739）尾張藩の重臣たちによるクーデターにより「主君押込」に遭い、將軍家より隠居蟄居謹慎を命じられます。そのため歴代藩主から除されましたが、死後70年以上経って名誉は回復され歴代藩主に列せられることになりました。

宗春の生涯に大きな影響を与えたのが、「享保の改革」を行った第八代將軍徳川吉宗です。吉宗が將軍に就任したとき幕府は未曾有の財政危機に直面していました。大きな理由は2つ。綱吉時代からの大土木工事や贅沢・奢侈などの浪費による出費が高んだうえに、幕府の収入のひとつである金銀銅山が枯渇してきたのです。

もうひとつは米価安諸式高です。幕府は年貢の米を“^{ふださし}札差”という商人に売らせて現金化して、旗本や御家人の俸給にしたり、幕府の運営費にしていたのですが、米の価格が安くなりました。“諸式”というのは米以外の商品のことで、その価格が上がって武士階級が窮乏します。幕府は旗本や御家人の給与支払いすらも危ぶまれる事態になりました。

原因は貨幣経済、商品経済が発達しているのに、幕府の収入が現物のお米だったからです。貨幣経済・商品経済を幕府運営に取り込むか、シーソーゲームでやっていき、最後に押さえきれなくなったのが幕末で、その結果、明治維新にスムーズに世界経済に入れて、富国強兵できたと思います。

そういう状況でしたから、吉宗の「享保の改革」の最重要

課題は幕府の財政安定化でした。改革の柱は主に2つです。年貢率を40%から50%に引き上げました。「百姓もゴマも絞れば絞るほど油が出てくる」という台詞は、年貢率を担当した勘定奉行の発した言葉です。

もうひとつは贅沢の禁止、儉約令です。町人の衣服まで細かく制限、遊郭、芝居小屋、祭りも規制しました。株仲間を公に認めて、独占営業権付与などもしました。

御家人の給料を下げればいいと思われるでしょうが、俸給は給料ではなく権利、つまり徳川家康の時代に先祖が幕府にどれだけ貢献したかで禄が決まっていたので下げることはできません。また武士だけでなく町人にまで厳しく儉約させたのは、日本国中の消費をさませば諸式の価格が下がって相対的に米価が上がるはずという発想です。その結果、幕府の財政は一息つきました。

当時農村は米だけではなく商品作物を作って現金収入を得ていましたが、農民は、年貢は増えるし商品作物は下落して現金収入が減って、都市では商業が不振になり一揆もありました。

「(上の者の)華美が下の者を助ける」

庶民が困窮していた状況のとき、宗春が第七代目尾張藩主になったのです。宗春は藩主就任後、初の尾張入りのとき一行に派手な衣装を着用させて人々を驚かせました。本人もべっ甲製の唐人傘、足袋は黒（金縁で中は赤）、漆黒の馬に騎乗するというクールかつゴージャスな格好で、吉宗の儉約令などどこ吹く風だったのです。

宗春は自身の政策をまとめた『温知政要』を著して尾張藩士に配布しましたが、そのなかで行き過ぎた儉約はかえって庶民を苦しめると主張して、幕府とは異なる消費拡大策を強行しました。山車やからくり人形を出して祭りを盛大にしました。歌舞伎や浄瑠璃芝居、相撲の興業を許可しました。江



戸では規制されていた役者の豪華な衣装や派手な仕掛け、夜芝居も解禁しました。庶民のことを知ったほうが良いと藩士は芝居見物を許されました。

江戸では芝居見物は贅沢として規制されていましたが、役者が名古屋で興業しようとやってくるようになり、常設小屋ができ、見物人も各地域からやってきて、宿屋もたくさんできました。遊郭も郊外に3つ建造されました。盆踊りも盛大に行われ1カ月半にも及んだそうです。女・子どもが夜でも歩けるように城下には提灯が数多く設置されました。防犯も考えたようです。提灯のデザインがステキな商店に褒美のお金を出したので、商人たちは競って趣向を凝らした結果、名古屋の夜が面白いと見物しに客が集まりました。

それと宗春は商人と積極的に対話をしました。岐阜や知多半島に行ったり、乾御殿や、御下屋敷に滞在中は商人を呼んで話を聞いたりしましたが、これは土農工商の価値観ではありません、贅否両論あったようです。

名古屋城の展示室にある「享元絵巻」には、宗春の頃の本町通りの賑わいが描かれています。現在の若宮祭りは宗春当時の名残です。吉宗の儉約令のため仕事がない全国のからくり人形師は名古屋に集まり、当時の優秀な技術が全国から名古屋に集積され、織物業、機械、家内制工業に発展していきます。

宗春の主張は「(上の者の) 華美が下の者を助ける」でした。それで経済はうまく回っていきますから、宗春公の意見は的を射ていると思います。

当時田舎の大きな村に過ぎなかった名古屋が、江戸、京、大阪に次ぐ都市になり人口は5万人から7万人に増加、「名古屋の繁栄に京（興）が冷めた」という言葉が生まれました。

けれど藩主になって9年目の元文4年1月に將軍家より隠居塾居謹慎の命が下ります。

内需拡大のための投資だった

宗春公の失脚については「將軍吉宗と対立して怒りをかけた」「浪費で藩財政を破綻させた」の2つの説がありますが、

私は第3の説を提唱します。

吉宗は若い頃の宗春を朝廷に推挙して官位を授けたり、鷹狩りの獲物を与えたり、とても可愛がり引き立てていました。吉宗は目安箱の設置をしていますし、為政者として公平性があった人でしたので宗春の手法を政策のひとつの実験として見ていて、宗春を排除したいと思うほど嫌っていたとは思えません。

そして本当に浪費であったのか。当時の尾張藩はすでに先端のモノづくり地域でした。岐阜は長良川水運があった関係で岐阜のアユ寿司、うす絹、ちりめん、美濃紙、小刀、提灯、ウチワ、傘、酒、干し大根、材木など特産品の集積地でした。知多半島も伊勢湾海運の中心地でした。酒づくりが盛んで、江戸に入るお酒の10～15%が伊勢湾周辺産になっていましたし、味噌などの醸造品も上方より運賃コストが安いということで人気でした。陶器も常滑焼き、瀬戸焼きなどがあります。農村部も煎茶、宮重大根（尾張藩献上品）、西瓜、タバコ、絞り染め、陶器、栗など、尾張藩の域内で生産されたものを、江戸・大阪・京都の都市部を中心に売って収入を得ていたのです。これがポイントですが、尾張藩は年貢だけではなくて関税収入、藩統制品、専売品などの商工業からの収入が多かったのです。それが幕府の儉約令によって、江戸・大坂・京都の大消費地が冷え込んでしまった。そこで宗春は尾張藩内の内需を拡大して市場を作ろうと考えたのではないかと思います。宗春は浪費をしたのではなく、新市場を創設するための投資で、この結果、尾張一帯の技術力が目覚ましく発展して現在に繋がりました。名古屋は技術立国と言われていますが、一朝一夕でなったわけではなくて、宗春公が種火に火を点けたわけです。

日銀オペレーションみたいなインフレ対応策

商工業は潤ったけれど商人から税金を取れなかったことが失脚の原因だとも言われていますが、御用金、冥加金、連上金制度によって、儲かった商人から税を取り立てています。また作物の生産販売で、現金収入で潤った農民からも上納金を



尾張藩主 徳川宗春のどえりゃあ派手な経済運営



宗春の新市場開拓と失脚

資料提供 /
浜村 真帆さん

徴収していました。川湊や津の関税収入もあり、藩統制、専売品制度もありましたし、景気の過熱にも先手を打っています。風紀が乱れてきたので享保20年（1735）には藩士の遊興・徘徊、博打は禁止、遊郭は3カ所から1カ所にして、芝居小屋の新設も禁止しました。

幕府の消費抑制策によってあまりにもひどいデフレになったので、元文元年改鋳によるインフレ誘導策を始めました。ところが尾張はすでにインフレ気味だったので、これをされたらアウトですから、商人たちから借入れをして資金を吸い上げることをしていたようです。日銀オペレーションみたいなことをして、インフレ前に対応していたのです。

以上のことから、私は藩の借金は増えたものの、藩財政に商工業の発展を取り込む道筋を構築しつつあった時期にクーデターによる失脚になったと思います。あと5年宗春の治世が続けば、日本の初の経済政策を日本に導入した殿様と名を残せたかも知れません。

クーデターのキーパーソン3人

クーデターの原因は何だったのか。竹腰正武は尾張藩の御附家老です。御三家の御附家老は大名並みの所領があり、家老のなかでも非常に権力をもっています。彼は四代、五代、六代藩主に仕えた重臣でした。竹腰家の先祖は尾張初代義直の異父兄であり、幕府に対して忠義の気持ちと、尾張家を支えてきているプライドをもっていました。ところが宗春は、小姓という低い身分から出世した星野織部を重用しましたので、エリートの竹腰正武は誇りを傷つけられたと思います。六代目の藩主のときには竹腰正武はものすごく節約をして藩財政をやっと黒字にしたという実績もあり、幕府の政策に反する宗春への危機感があったと思います。そして宗春が商人と懇意にしていることへの嫌悪感もあったのではないかと。人事の不満は深刻です。不満はやがて敵意に変わります。

もう一人のキーパーソンは老中の松平乗^{のり}邑^{さと}です。彼は吉宗の取り立てによって異例の出世をしました。年貢微増の過程

で全国の代官を影響下に置くなど吉宗も無視できない力をつけていました。吉宗思いの真面目な人です。彼の目から見ると、家康の遺言で「御三家は幕政には口を出してはいけない」と決まっているのに、幕府の政策に背く宗春を許せなかったはずで。竹腰正武と松平乗^{のり}邑^{さと}の両者の思いを繋ぐ人物が、竹腰正武の弟の石河政^{まさとも}朝^{とも}です。有能な人物で、松平乗^{のり}邑^{さと}の引き立てで元文3年に江戸北町奉行に就任しました。吉宗の幕閣に入ったのです。それで石河政朝を通じて竹腰正武への工作をはじめ、4カ月後の元文3年にクーデターが実行されたのです。

正月が明けて、「藩内の混乱」を理由に宗春に隠居蟄居謹慎の命が下りました。沙汰が決まるまで半年以上かかっていることから吉宗の苦悩が伺えます。吉宗は独裁的と思われがちですが、実際は老中たちの合議制を守っていましたし、代官たちを味方につけている松平乗^{のり}邑^{さと}とケンカをするわけにはいきませんでした。

尾張藩は幕府がいったん召し上げた上、宗春の従兄弟の松平義^{よし}淳^{やず}（後の八代藩主徳川宗勝）に下されます。竹腰正武にお咎めはなく、御附家老として宗勝に仕え、これまでの反動のように藩内の質素倹約を徹底化しました。そのときに名古屋の人の心に「贅沢、派手、質素倹約」が刻み込まれたと思います。

宗春公は尾張一円のモノづくりを発展させました。名古屋、中部が日本の産業技術の基盤地域になる礎を築きました。上方から名人やお師匠さんが大勢来ましたので、名古屋の人は芸事好き・習い事好きで目も肥えました。そして宗春公の反骨精神が尾張一円に独立心を養い、現在に続く名古屋独自の精神や文化を育ててきたと思います。それがグローバルなビジネスの世界でも強く勝っていく基盤になっていると思います。こうしたことから徳川宗春公は名古屋、日本の発展の恩人であると思います。

※この記事は平成27年5月26日(火)の講演を要約したものです。

文責：公益社団法人名古屋中法人会



花束贈呈 加藤 紘子さん



講師紹介・司会 松原 正憲氏

青年部会 第35回通常総会

新生・青年部会 創設35周年に向けて

日時／平成27年4月15日(水) 18:00～19:30 会場／名古屋クレストンホテル

次年度へのキックオフ

青年部会は楽しく自由闊達な交流によって、次代を担う若手経営者たちの資質向上を図ってきた。

主な事業活動として、新入会員オリエンテーション・経営研究会のコラボレーション・10年後の青年部会の姿を目指す名古屋市内9法人会青年部会合同プレゼンテーションを企画したが、特に印象的な事業は、社会人としてのアルコールマナーと第一印象の大切さを考えるパーソナルカラー・青年部会のメンバーが被験者となった医学的見地からみたアンチエイジング法であった。

社会貢献事業は、初雪舞う庄内緑地公園でのチャリティーリレーマラソン・久屋大通公園でのグリーンクリーンウォーキング・学童によるTAX杯ミニサッカー大会などを開催したが、恒例の「名古屋ニコニコランド」は、名古屋中法人会最大規模の事業であったが台風の影響でやむなく中止となってしまった。

いずれも各委員会のメンバーが、企画立案から大会前の準備・当日の設営と運営と撤去まで、それぞれが趣向を凝らして取り組み、多くの参加者を魅了することができた。

総会では、岩野司部会長が節目となる青年部会創設35周年に向け、「新生・青年部会」をスローガンに掲げ、会則第3条にある青年部会定年45歳から50歳への引き上げが報告された。表彰では優秀委員会の税務委員会・第三委員会・会員交流委員会、優秀会員の藤井進氏・加藤千雄氏に感謝状と記念品が送られた。



部会長 岩野 司氏



署長 伊藤 時光氏



親会副会長 高橋 公比古氏



第34年度表彰 最優秀委員会 税務委員会



第35回 青年部会新役員

女性部会 第32回通常総会

感銘と素敵な出逢いの女性部会

日時／平成27年4月21日(水) 14:30～16:00 会場／名古屋東急ホテル

お仲間から、さらにお友達へ！

県連女連協会長の加藤正子部会長は、女連協創設30周年記念事業の運営を兼ね、多忙な一年を振り返った。

「県連・女性部会と重責を担わせていただきましたが、皆様のご支援とご尽力で、乗り越えることができました。本当にありがとうございました。」

昨年は、広島のと砂災害・御嶽山の噴火と大規模な自然災害で多くの犠牲者がでましたが、地元ゆかりのノーベル物理学者が3名も受賞され、それにテニス界では錦織選手が日本人初の四大大会で準優勝という快挙もございました。

私たちの女性部会も“次世代を担う幹を育てよう”をテーマに、小学生を対象にした『税に関する絵はがきコンクール』、小中学校と一般の皆様を対象にした『暮らしの中の税金展』、さらに『なごやヤングジャズフェスティル』も定期演奏会として開催することができました」と感謝の言葉があった。

引き続き、平成27・28年度の新役員の紹介と新部会長に就任した加藤あつこさんが「皆様と一緒に、新しいお仲間を誘って、楽しい女性部会にしましょう。そのお仲間がお友達へと繋がりが深まっていけば嬉しいです」と元氣な声で呼びかけると、会場から大きな拍手が上がった。



部会長 加藤 正子さん



アトラクション



第 32 回 通 常 総 会



第32回 女性部会新役員

創設30周年 新たなチャレンジ

日時／平成27年4月9日(木) 18:00～19:00 会場／東京第一ホテル錦



代表幹事 服部 伸一氏



署長 伊藤 時光氏



新旧代表幹事のバトンタッチ



平成27年度 経営研究会新役員

出来ない理由を探す前に、常に出来る方向へ目を向けよう！

温故知新。経営研究会は創設30周年の節目の年を迎えた。“気づき”をテーマに掲げた服部伸一代表幹事は、平成26年度の事業を振り返り、青年部会とのコラボレーション「バーテンダー吉家知也子さんに学ぶ ～お洒落な大人の流儀～」で、大人の酒の嗜み方を改めて知り、貴重な体験となったと述べた。

初めて開催した名駅前のウイंक愛知では、「奥志摩グループ代表中村文也氏とシンガーソングライターあきいちこさんによるトーク＆ライブ」に一般の来場者も含め多くの参加者と経営者の志の高さに感銘を受け、粋なライブも堪能することができた。

そして、「女流浪曲師春野恵子さんの浪曲一直線」では浪曲の囃子言葉“待ってました！”をレクチャーされ、愉快なひとときを過ごした。

新代表幹事の松原正憲氏は、“創設30周年 新たなチャレンジ”の合言葉の下、中法人会らしい“パワフル”な事業活動の推進を高らかに提唱した。

近年、本会は会員数減少によって厳しい状況となっている。今一度かつての活発な活動を蘇らせ、創設40年、50年へと繋がる新たな事へのチャレンジを行い、出来ない理由を探す前に、常に出来る方向へ目を向けよう！と呼びかけた。

理事会

平成27年度 第9回理事会

日時／平成27年5月26日(火) 15:45～15:55
会場／名古屋東急ホテル



名古屋東急ホテル 葵の間

平成27年度 第4回理事懇談会

日時／平成27年8月4日(火) 16:00～18:30
会場／東京第一ホテル錦



署長 辰巳 安治氏



福利厚生制度の案内 大同生命



東京第一ホテル錦

議 案／会長・副会長・専務理事及び常任理事選任

議 題／会員増強運動推進について

報告事項／福利厚生制度推進状況について

平成27年度支部事業の計画及び実施状況について

名古屋中税務署の人事異動について

平成27年度主要行事予定について